

未来へつなげる環境活動支援事業評価委員会 議事録

日時：令和6年5月28日（火） 15：00～17：30

場所：アクロス福岡6階 601会議室

出席者：評価委員 4名

申請団体 8団体

事務局 5名

<申請事業の評価>

団体活動支援コースAのプレゼンテーションおよび申請団体への質疑応答

（概要説明7分、質疑応答7分）

1 愛宕の森と緑を守る会

発言者	発言内容
委員	今までの活動は引き続き行い、新たに子どもたちが遊べる木の遊具などを設置し、多くの市民が楽しめるエリアを設けるということか。
団体	探索路にある平坦な箇所に遊具を設置できないかと考えている。子どもから高齢者までそれぞれ楽しみながら、かつ、学習もできる場所にしたい。
委員	その場所は、誰がいつ行っても使えるかたちにするのか。安全面が気になる。
団体	常設にすると管理の問題がでてくることは認識している。まずはイベントの際に設置する方向で考えている。
委員	誰でも入ることができる場所であるため、安全面は気をつけないといけない。
団体	その点は、場所の管理者と相談しながら検討していく。
委員	他の市補助金の支給が決定されているようだが、今回の提案事業とは全く違う事業に対して支給されるものなのか。
団体	事業内容的にはある程度類似している部分もあるが、それぞれの事業実施にかかる予算は完全に分離している。
委員	団体全体の活動は、当補助金と他の市補助金で賄うということか。
団体	ほかに会費や寄付で実施していく。
委員	今回4年目の特例で申請されているが、仮に今回の申請が通らなかった場合、どうかたちで活動されるのか。

団体	活動自体を縮小するか、もしくは寄付を募るというかたちになると思う。
委員	もし申請が通らないとしても活動自体は継続していくということか。
団体	団体予算の範囲内で実施していく。日常の活動は継続していくつもりだが、費用負担が大きい伐採や昆虫等のモニタリングについては予算をどう工面するか考えなくてはいけない。

2 水と緑の学校

発言者	発言内容
委員	OECEMについて、ある一定のエリアの活動に対して認定するものだと認識しているが、川沿いという枠組みで認定された事例はあるのか。
団体	おそらくまだない。実際に認定までいくかどうかはわからないが、認定に向けて、OECEMの基準に則ってエリアを整えていく形になる。
委員	西区の生の松原などまとまっている演習林などはイメージできるが、川沿いというのは少々ハードルが高いのではないかなと思う。
団体	油山から市内を流れ完結するエリアであるため、認定基準を満たすかどうかというところではあるが、事例ができれば他のところへ広がる可能性もあるのではないかと考えている。
委員	当補助金がなければ活動できないという状態にならないようにしてほしい。参加費を徴収するなど、活動を継続していくための方法を考えているのか。
団体	現在、他の補助金や川遊びの冊子発行に対しての協賛金をいただいております。夏のイベントではかき氷の販売なども行っている。今後も収益につながる取組みを考えていく。
委員	補助金対象事業として認めるにはかなり限定されたエリアでの活動になる。団体として自立していくような改善を期待する。
団体	承知した。
委員	成果として「他団体との協働を進めた」とあるが、具体的に教えてほしい。
団体	清掃活動団体や、室見川を拠点としてシロウオの産卵場を搜索する活動を行っている団体、油山で活動する団体、鴻巣山で子どもたちと野遊びを主催している団体など、様々な団体とつながったと感じている。同じ地域ばかりでなく、他の地域へ活動が広がっていくような働きかけ

委員	は行ったか。
団体	去年は海外からの見学を受け入れた。今後は、河川愛護会や土木関係で実際に活動している方々と情報交換などを行っていきたいと考えている。
委員	良い活動を継続されているため、この活動が他の地域に波及していくような取組みを行ってほしいと感じる。
団体	今後は、同様の活動を行っている団体の掘り起こしや、良い取組みなど情報共有できるようなコネクションを作っていきたいと思う。

3 ふくおか環境倶楽部

発言者	発言内容
委員	生ごみの堆肥化について、新しく取り組もうと考えている方、特に子どもに対して広げていこうというのはいいことだと思うが、新たに始められた方が継続できるよう、フォローするための活動は何かされているのか。
団体	定期的に実施している相談会では、新しく始めようとしている方の相談だけでなく、失敗したときの相談などにも対応している。
委員	新しく取り組む方を増やしていくことも大事だが、継続してもらうことが重要である。そうすることで生ごみ堆肥を実践する方が広がっていくのではないかな。
団体	団体としてもそこが悩みである。いつでも基材を持っていくと伝えても、その後連絡がないということがある。やはり地球問題に貢献しようという意識がなければ、なかなか継続に結びつきにくい。
委員	メンバーに「地球温暖化防止活動推進員」の資格を持った方がいるため、温暖化の現状等を伝えることを軸とし、温暖化防止のためのツールとしてコンポストを紹介するというような企画を組み立て、年間通しをしっかりと活動されるとよいと思う。
団体	現在、環境家計簿やエコふぁみアプリの認知を広めようとしているが、どんなイベントに行っても知っているという人は少なく非常に残念である。コンポストについても、公民館から広げてもらうように働きかけているがなかなか広がらない。今年度はメンバーが居住している地域の公民館で講演会を実施してもらうよう働きかける予定であり、来年はさらに実施場所を広げていきたいと思う。
委員	公民館での講演会について、日程や場所などはすでに決まっているの

	か。
団体	城南公民館は7月に実施することが決まっている。10月に吉崎南公民館で実施しようと働きかけているが、日程はまだ決まっていない。あとは西陵公民館を予定している。
委員	予算書に計上されているとおり、3回実施するということか。
団体	そのとおりである。

4 ウェットランドフォーラム

発言者	発言内容
委員	学習帳の作成費用に大きな金額を計上されているが、アーカイブ的にいろいろなものを盛り込まれた学習帳を作成する予定なのか。作成部数は3,000部も必要なのか。
団体	小・中学校に配るという前提で計上している。
委員	どの学年を照準に合わせ作成するのか。小学校の高学年くらいを対象とするのか。
団体	そうなるのではないかと考える。ガタレンジャー（生きもの調査などの活動を行っている子どもたち）の目線も入れて作成したいと考えている。また、生物の紹介ページなどもガタレンジャーの活動の中で子どもたちと一緒に見つけた生きものを取り上げようと思っている。
委員	今までとても良いものを作られているため、今回も期待している。予算に計上されているコラムについては、こういった方に依頼するのか。
団体	歴史的なところについては、和白の郷土史研究会に依頼しようと思っている。アサリについては地域の自治協議会の会長、その他に地元で干潟の活動をされている団体や、城東高校の生徒、専門家などに依頼する方向で検討している。
委員	最終的な監修は団体が実施するイメージか。
団体	生物の部分は、団体のメンバーにコンサル会社に勤めている方がいるので、その方に依頼しようと考えている。
委員	費用を見ると印刷代がかなり大きいですが、今まで作成されていた冊子などがとてもよかったので期待している。
団体	今まで外部の方に執筆などを依頼することはなかったが、今回初めてコラム執筆代として計上している。

委員	学習帳を作成する際、どのように子どもたちを巻き込むイメージなのか。
団体	ガタレンジャー活動の後、必ず感想文を書いてもらっているため、それを参考にしたり、子どもたちと編集会議を実施したりできればいいと思っている。子どもたちにこの学習帳の企画を伝えることで、さらに活動への士気が高まるのではないかとといった点でも期待している。

5 大濠舞鶴公園パトロール隊

発言者	発言内容
委員	今年度もトングを購入する予定のようだが、昨年度は何個購入されたのか。
団体	300 個程度購入した。
委員	改めて追加購入する理由を教えてほしい。
団体	途中で破損したり、参加者が持ち帰ったりして、だんだんと減っている。また、今年度さらに参加者が増えればという思いもあり補充を考えている。
委員	昨年度も申し上げたが、楽しいと感じることや公園をきれいにしたいという気持ちを育むことは大事だが、そういった行為が環境保全とつながっているということを、しっかりと参加者に発信してほしい。また、この地域だけでなく他の地域にもぜひ広げていってほしい。
団体	承知した。

6 一般社団法人くらげれんごう

発言者	発言内容
委員	身近なところで様々な環境と繋がっていると思うが、その中でもなぜ海に注目したのか。また、学校ではどういったかたちで講座を実施されているのか。
団体	当団体は、環境問題に取り組みたいことを理由として設立された団体ではなく、もともと海が好きなメンバーが、自分たちの遊び場である海を守っていききたいという気持ちから設立した団体なので、海以外の選択肢はなかった。子ども連れのメンバーが多く、楽しく遊びながらできるハードルの低いライトな活動を多く実施している。 小学5年生の総合的な学習の時間ではSDGsや環境について扱われることが多いため、「海の環境授業」として学校に提案している。たまに4年生で環境を扱うところもあるが、基本は5年生である。
委員	ご自分で積極的に学校に赴き、提案しているということか。

団体	当団体のことを知っていた先生からお話をいただくことや、こちらから小学校に依頼するということもあった。その割合としては半々くらいである。
委員	日本財団にかなり大きな金額の補助申請をなされているようだが、これはこういった内容なのか。
団体	ゴミを拾うとポイントが貯まる「YUIMAALU」というアプリ開発する費用として、2021年から補助していただいている。
委員	今年度もすでに採択が決定されているということか。
団体	そのとおりである。
委員	1年目の申請ということだが、今後こういったかたちで活動を継続していく予定なのか。
団体	今後、活動を継続していくにあたっては、ボランティア 100%では活動できかねる部分もあるため、現在は、企業等と共同開催というかたちで、資金で応援していただきながら一緒に海をきれいにする活動を開催している。このようにボランティアではなく、持続可能なかたちを模索していきたい。

7 一般社団法人環境演出家協会

発言者	発言内容
委員	団体名が面白いとおもった。環境演出という名前の由来を教えてください。
団体	自分がもともとフラワーアレンジメントの仕事をしており、「環境演出家ですね」と言われたことがきっかけである。「環境演出家」として名乗るなら、名前に適することをやりたいと考え、地球環境を演出するための活動を始めようと思った。
委員	中学生用のテキストを作成するとのことだが、そのタイトルに「環境演出」という表現を入れると、少々分かりにくいように感じる。その点はもう少し柔らかい名称を考えたほうが良いと思う。
団体	承知した。
委員	対象者が、警固中学校の生徒や住吉中学校区の児童・生徒とある。小学生と中学生ではかなり幅があると感じる。もう少しターゲットを絞る必要があるのでは。

団体	テキストは中学校区で配ろうと考えており、参加者については、当団体の活動が小学校をメインで行っているため、小学生向けになると考えている。
委員	ごみの分別など、結局は保護者が行わなければいけない部分だと思うのでそこへの波及効果があればよいと思う。小学生をターゲットにしつつ、保護者へのアプローチについても考えてもらいたい。
団体	小学生から発信して、家庭内で話題にしてもらえると良いと思っている。
委員	子ども環境演出家について、環境活動のプレイヤーとして最後に認定をするということであるが、環境の負担軽減にどれくらい効果があるのかという点で、その認定基準があればお聞きしたい。
団体	そこまで深い意図はなく、「環境演出」という言葉を広めたいというところと、自分は「子ども環境演出家なのだ」ということを子ども自身が思ってくれるだけでいいと思っており、その基準などは考えていない。複数回ゴミチャレンジをしてくれた子ども達に「あなたは子ども環境演出家だ」と伝えることで気づきや意識を持ってもらいたいと考えている。
委員	意識の高揚や啓発という観点での取り組みということか。
団体	そのとおりである。

8 みんなで楽しくlet's SDGs in 田村実行委員会

発言者	発言内容
委員	内容に小・中学生などへの SDGs の教育とあるが、メンバーの知識などはどうやって学ばれたものなのか。また、それをどう伝えていこうと考えているのか。
団体	ワークショップについては、メンバーが小・中学生に向けて知識を与えるというイメージではなく、自分たちも一緒に SDGs について学んでいこうと考えている。
委員	大学の教員などある程度知識を持った方からメンバーが学んだうえでワークショップを実施するほうがよいと思う。現在メンバーが持ち合わせている知識のみで、突然環境教育などを実施するというのは少々不安な面がある。他に知識を持つ指導者を付けたり、メンバーがもう少し勉強したうえで実施するといったことは考えていないのか。
団体	学校の授業の中では SDGs の学習などは行っている。
委員	考えているよりも小・中学生の子どもたちに教えるということは難し

	い。教育ではなく、ワークショップという形態で実施するにしても、ある程度知識がないと簡単なものではない。その点もう少し指導者や専門家に相談してほしい。
団体	承知した。
委員	大学の中でボランティアとして参加されているのは何人くらいいるのか。
団体	ボランティア部としては 10 名であるが、大学内ではそれぞれいろいろなところでボランティア活動を行っている。
委員	地域に広げるということも大切だが、学内で仲間を広げようとは考えているのか。
団体	ワークショップを実施するための委員会を立ち上げる際に、ボランティア部だけでなく学内全体に募集をかけようと考えている。
委員	地域の方たちとはどのくらい交流があるのか。
団体	公民館などで高齢者との交流はあるが、中学生とはあまり交流したことはない。
委員	校区の自治協議会とはまだ交流はないということか。
団体	そのとおりである。
委員	大学生がボランティアに興味があるというのはありがたいと思っている。福岡市にあすみんという施設があるが、そこにいろいろな相談ができる窓口があり、500 ほどの登録団体がいる。現在会場費を 8 万円として計上されているが、あすみに登録してもらうと 80 名ほど入るセミナールームを無償で利用できるうえ、ボランティアを行う大学生や環境活動を行う団体との交流ができるため、ぜひあすみを活用してもらいたい。
団体	承知した。

未来へつなげる環境活動支援事業評価委員会 議事録

日時：令和6年5月29日（水） 15：30～17：30
 場所：オンライン及び福岡市役所本庁舎 15 階 1502 会議室
 出席者：評価委員 3 名
 申請団体 5 団体
 事務局 4 名

<申請事業の評価>

団体活動支援コース B の申請団体への質疑応答
 （概要説明 5 分、質疑応答 7 分）

1 藍陽農園みんな

発言者	発言内容
委員	交通費を計上されているが、西区のどの辺りで活動するのか。
団体	西区の桑原に圃場があるため、その近郊での活動を想定している。
委員	九大学研都市駅から距離があり、かつバスの本数もそれほど多くないと思うが、どう対応するのか。
団体	今津にも圃場があるため、タイミングが合えば一旦今津に集まり、一緒に乗り合わせるなどして移動している。
委員	事業目的のところに「地域社会の経済的発展に貢献する」という文言があるが、もう少し詳細な内容を説明してほしい。
団体	アップサイクルを念頭に置いて記載している。古着や着物をリメイクし作品を展示や販売等につなげられるようにできたらと考え、経済という言葉を入れている。
委員	会場の借り上げ費を 5 回分計上しているが、具体的にこういったところで実施する予定なのか。
団体	さいとぴあや 3R ステーション等を想定しているため、そこまで費用はかからないと思っているが、他に、ミシンが整備された店舗の借り上げも検討しているため、少し高めに費用計上している。
委員	講師謝金を計上しているが、講師はどのような方を想定しているのか。
団体	くず（植物）を使って糸を取る講座の開催や自身でプロダクトを作りブランドを展開するなどその分野に精通された方や、縫製の技術をレクチャーしていきたいと考えているため、短期大学や専門学校で講師を務め、現在は着物のリメイクのブランドの代表として活躍をされている方を予定している。今後、声をかけたい先生は数名いるが、確約が取れていない。

2 CODOMARE(コドマーレ)

発言者	発言内容
委員	2年後のSDGs フェス開催に向けて、今年度はビーチクリーンやおもちゃ交換イベント、フードドライブを実施するということか。
団体	そのとおりで3か年計画を予定している。
委員	子ども食堂と農家を繋ぐイベントについてもう少し詳細を教えてほしい。
団体	子ども食堂で提供される食材等は、フードドライブで集めたものが含まれている。新鮮な野菜がどの程度届いているのかわからないが、農家が売りに出せないようなものなどを企業が買い取ってそれを子ども食堂に提供するような流れを作っていくことができればと考えており、本イベントで子ども食堂と農家を繋げていけたら良いと思っている。
委員	企画段階で直接農家や企業と交渉されているわけではないということか。
団体	来年、子ども食堂と農家を繋げるイベントを実施しようと思っているため、それに向けて今期は事業の趣旨を説明する期間にしたいと考えている。
委員	団体名のCODOMARE(コドマーレ)の由来を教えてほしい。
団体	大きく三つに分けて、「C0」がコーポレーションやコミュニケーションなど「一緒に」という意味で、それに「D0」をつけ、C0とD0で「一緒に何かをする」という意味。「MARE」はラテン語で「海」を表す単語。ラテン語は全ての言葉の語源であるということを聞いたため、「みんなで一緒に世界を繋ぐ、海を守る」というイメージでCODOMARE(コドマーレ)とつけた。
委員	印刷費やTシャツ等の委託費関係に非常に多く費用計上しているが、実際にイベントにかかる費用はどのように考えているのか。
団体	実際にイベントを運営する費用は交通費や食糧費、通信運搬費がメインになる。委託費と印刷費の用途については、今後の団体運営や展開を周知するための広報と団体としての結束を高めるという意味合いでの費用と考えている。

3 子どもの未来研究室

発言者	発言内容
委員	天気が悪い場合はどう対応するのか。
団体	海のコンテンツについては、屋内でできる活動もあり、山でのコンテンツに関しては、山の周辺にある公民館に現在交渉しており、場所によって中身は少し変わるが、活動自体は行う方向で考えている。
委員	事業を通じて参加した子どもたちが、暮らしの中で取り組む環境保全活動というのはどのようなものをイメージしているのか。
団体	例えば、子どもたちがごみをきちんと分別することや、家のベランダにあるプラスチック製の洗濯はさみをスチール製に変えてプラスチックごみを減らすなど、簡単で誰でもできるようなものを考えている。また、食品ロスの観点から、好き嫌いはないか、食べ残しをしないか、賞味期限を守っているかといった話を取り入れようと考えている。
委員	これまでこういった活動をされていたか紹介していただきたい。
団体	当団体は設立したばかりで、子どもの未来研究室という団体そのものの活動実績というものはまだないが、メンバーは5年ほど別の法人の事業で共に活動してきた仲間である。メンバーの中には保育に関するワークショップや発達障害の子どもたちのインクルーシブ教育のため運動会を実施するなど、子どもに特化した活動をしてきた者もいる。
委員	具体的にはどのようなかたちで人を集めようと考えているのか。
団体	今までは学校にチラシをまくことで、9割8割の集客を得ていたが、今年度からできなくなったということを教育委員会から聞いたため、地道に広報していくしかないと考えている。予算があるわけではないため、Web 広告や学校前にチラシを置くこともできないことから、運営側の周りにいる多くの子どもたちにまず声をかけて、そこから広げていこうと思っている。
委員	非常にコンテンツが良いため、ぜひ多くの子どもたちを集め成功させていただきたい。

4 REPAIR UNION+

発言者	発言内容
委員	昨年度、当補助金を受けたのか。
団体	昨年度は「団体支援コース」ではなく「イベント支援コース」で申請し、交付決定いただいた。
委員	昨年度実施した「CYCLE TERIHA（サイクルテリハ）」というイベントについて全体像を教えてほしい。
団体	アイランドシティ中央公園が開催しているイベントで、今まではコンポスのワークショップなどを実施されていたが、当団体の「なおして使うマルシェ」とコラボしたいとお声掛けをいただき、当団体が出展した。
委員	そのイベントは、毎年1回ずつ開催されているということか。
団体	そのとおりである。今年も10月に第4回の「CYCLE TERIHA（サイクルテリハ）」が開催される予定であり、「なおして使うマルシェ」も開催する。広報としてはチラシを自分たちで撒いているが、その効果がかなり高く、裏には職人の紹介文を掲載している。
委員	中央公園での開催ということは、雨が降った場合は場所を変更するのか。
団体	おっしゃる通り。現在、10月のイベント開催に向け打ち合わせをおこなっており、雨が降った場合は屋内のスペースに移動して実施する方向で検討している。
委員	雨が降った場合の対応もきちんと考えられているということで、了解した。
委員	事業の内容は一緒で、場所と日時が異なるというかたちだと思うが、4回分のチラシデザイン料を計上されている。毎回デザインを変えないといけないのか。
団体	掲載する地図や内容の変更、メンバーの組み替えや文章の変更が必要であることから、少々高めに設定している。
委員	アイランドシティ中央公園のイベントは主催ではなく、そのイベントに関わっているというイメージか。
団体	そのとおりである。昨年団体を立ち上げたばかりで、実績もあまりない。今後は自主的にイベントを実施していきたいと思っている。

委員	アイランドシティ中央公園以外のイベントは、団体の主催ということか。
団体	サンカクヤのイベントはそのとおりである。UR のイベントは UR のフリーマーケットと組んで実施した。他の企業や団体と連携し実施する方法にもメリットはあると考えている。
委員	他の委員からも質問があったが、印刷・宣伝・広告費がやはり高額だと感じる。今後の広報について、もう少し検討いただきたい。
団体	以前インスタグラムの広告を自費で打ったがあまり効果がなかった。今後は、LINE の一斉登録機能などを使った方法も検討したい。
事務局	団体に登録している職人が一堂に集まるということだが、市民の方がその場で職人に対して何か依頼した場合、別に料金が発生するのか。
団体	そのとおりである。参加者が職人との間で金銭のやり取りを行うというイメージである。
事務局	その金銭のやり取りは団体としてノータッチで、それぞれの職人の中で完結されるということか。
団体	そうである。イベントに出展する際に必要な出展料は各自が払っているため、当補助金の予算は広報中心に使いたいと考えている。

5 そらいろ伴走舎 あそびねっこ

発言者	発言内容
委員	飯盛山に行くにはおそらく車でしか行けないと思うが、交通費はガソリン代ということか。
団体	そのとおりであり、ガソリン代として計上している。
委員	体験活動を 3 回実施する計画となっているが、参加する子どもたちは、基本的に連続して参加することになるのか。
団体	連続で参加する人はおそらく半分ほどになるのではないかと考えている。通年でずっと参加してくれる人、という募集の仕方ではなく、その時々でよいと思っている。
委員	承知した。
委員	地域の方や近隣校区の方の理解を得るような取り組みという点で、地域の方から協力していただけるような工夫があれば教えていただきたい。

団体	飯盛山の麓にある神社の方がこの活動に理解を示していただいている。その方が所有する土地を使用させてもらったり、地域のこういった方にお話しするべきかなどアドバイスをいただいている。あわせて近隣の学校へは最低限働きかけることを意識している。
委員	この団体が設立されたのは今年の4月だと思うが、これまで何か団体として設立までの活動などがあれば教えていただきたい。
団体	規約を作って団体として活動し始めたのは今年度からであるが、親子で遊ぶことを主体とした活動を2年間継続して行ってきた。現在、その活動の際のスタッフや参加者の方をメンバーに加え団体を設立し活動している。今までは大きな参加費を取りながら行っていたため、参加費を抑え、より多くの子どもたちが集まれるような場にしたいという意図があり、今回申請させていただいた。
委員	過去に実施した活動があるということだが、人脈のようなものはある程度地域でできていると考えてよろしいか。
団体	私自身がそのエリアの出身でもあり、今まで活動してきたこともあるため、PRや広報に関しては特に心配はないが、あとは地域に配慮しながら実施したいと思っている。
委員	事業収支計画書を見ると、宣伝・広告費が大きな割合を占めているが、広報をメインに考えているのか。
団体	チラシを作成し、飯盛山付近のエリアは最低限配布する予定であるが、この補助事業が福岡市全域を対象とした事業に対して補助されることを踏まえ、福岡市役所や西区エリアの公共施設などにチラシを配置しようと考えている。